



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 SGH通信 2019

No.1 (2019年5月9日発行)

## SGH 4年目始動へ！ オープニングセレモニー ～「SGH講演会」開催～

2019年4月15日(月)6、7時限目にSGH4年目の始動となる「SGH講演会」が本校体育館で開催されました。今春SGH指定後、初めての卒業生を出し、ますます充実した年度となることが期待されます。

### 当日のプログラム

1. 校長挨拶
2. 今年度のSGH活動について (SGH推進部長 野城充生)
3. SGH活動報告
  - ①「海外グローバル研修」(カナダ)報告  
(参加者38名を代表して、小川莉歩[2-4]、宮原佑佳[2-4]、藤沼伸[2-4]、若林大耀[2-2]、深津拓未[2-1])
  - ②トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム報告 (店網秦吾[2-2])
4. 講演 「今、アジアで何が起きているのか ～グローバル化のリアルを考える～」  
(東京海洋大学グローバル教育研究推進機構 小松俊明 教授)

### 《校長挨拶・今年度のSGH活動について》



校長先生ご出張のため教頭先生が今年度のSGHのキックオフをしてくださいました。SGHが4年目を迎え、プログラムがとても充実したものになっていると力強いお言葉をいただきました。続いて、SGH推進部長の野城先生より、そもそもなぜ本校がSGHに名乗りを上げたかという話から、この3年間の成果そして今年の取り組むべきことなど、今年のSGHの道筋をお話ししてくださいました。

本校はもともとグローバルリーダーの育成を教育目標に掲げてきました。それを現在のSGHに継承し、さらにパワーアップした教育活動を実践しています。本校生の皆さんも高1での地域課題研究や、高2での異文化研究、そして、海外・国内フィールドワークなどに参加し、大いに自分を磨きましょう。

今年もお互いにいい刺激を与えあい、**INSPIRE SAKO**で頑張ろう!!

## 《SGH 活動報告① 「海外グローバル研修」(カナダ)》

小川莉歩(2-4)、宮原佑佳(2-4)、藤沼伸(2-4)、若林大耀(2-2)、深津拓末(2-1)の5名が38名を代表して「海外グローバル研修」の報告を行いました。今年3月に実施された研修では、ブリティッシュコロンビア大学で課題研究を発表したり、老人ホームを訪問するなど現地での様々な活動を通して、生徒たちは大きく成長することができました。今後、いろいろな場面で研修で学んだことを生かしてくれることでしょう。発表はとても素晴らしいもので、昨年から長期にわたって行われた研修の成果を見事に発揮してくれました。



## 《SGH 活動報告② トビタテ留学 JAPAN 研修報告 2年2組 店網 奏吾》

### イギリスのケンブリッジに2018年7/15～8/6の22日間 短期留学

2年2組の店網奏吾くんは昨年トビタテ留学 JAPAN の制度を利用して、イギリスのケンブリッジに短期留学をしてきました。その内容は、昨年 SGH 通信でお知らせしましたが、今回は全生徒が直接話を聞くことができました。プレゼンがとても上手だといろいろな先生からおほめの言葉をいただきました。

佐野市はクリケットをまちおこしの一つとしてうまく利用しようと考えていますが、店網くんはクリケットの本場であるイギリスを訪問し、どのように人を集めたらいいか、経済を活性化させるにはどのような手法があるかなど自分の目で見て、データをまとめてきました。プレゼンでは、クイズも出題されており、「イギリスでは雨が降っても傘を差さないといわれていますが、これは本当でしょうか」というクイズを行ったり、自分でインタビューでデータを集めようとしていた時、イタリアの女性に話しかけたら、即座に「I have a boyfriend」とナンパに間違えられたなど笑いも取りながら、留学の魅力を語ってくれました。彼がトビタテの話をしてくれたおかげで、何人かの下級生がトビタテに興味を持ち下調べを始めたようです。



## 《講演 「今、アジアで何が起きているのか ～グローバル化のリアルを考える～」》 東京海洋大学グローバル教育研究推進機構 小松俊明 教授

講演は、本校 SGH 統括アドバイザーの東京海洋大学グローバル教育研究推進機構の小松俊明教授にいただきました。今年の講演では、パワーポイントのスライドを使って話をされる前に、どのように海外へ飛び出していったらよいかご自分の経験や学生の例などを挙げてお話ししてくださいました。先生の話聞いて、自分も海外に行きたいと思った生徒が多くいたことでしょう。

また、小松先生のお話の中には我々日本が目をつけるべきところはアジアであるということで、iPhone がどこで製造され、マグロやエビがどのように流通され日本に届けられているかなどを考えることでアジアの重要性を示してくださいました。そして、最後のメッセージとして「みんなに考えてほしい」こととして3つ示してくださいました。現在のグローバルな世界に対応するには、①単位を大きく、②関連付ける、③移動することがとても大切になってくるというお話をしてくださいました。熱のこもったお話、ありがとうございました。

この後の話になりますが、小松先生から今回の発表者がとても上手であったとおほめの言葉をいただきました。これも SGH4 年目を迎えての成果であると思います。

